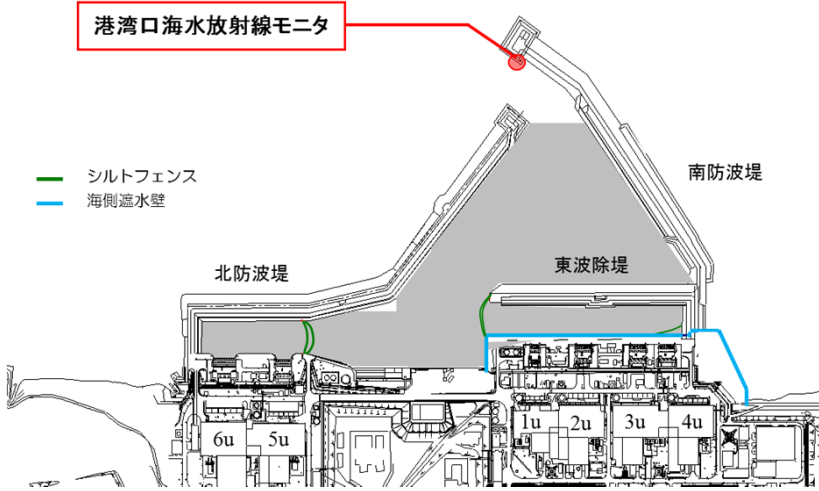
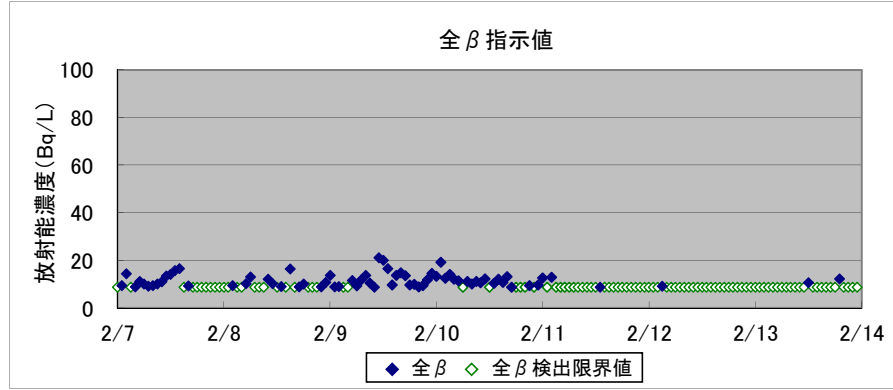
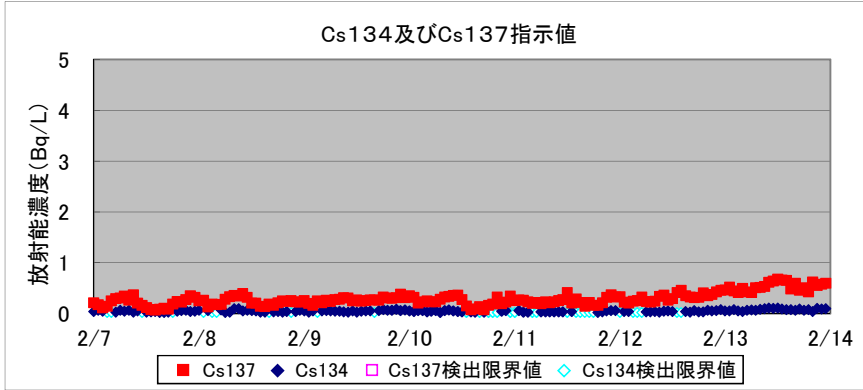


港湾口海水放射線モニタ指示値 (2016年2月7日 ~ 2016年2月13日 分)



(単位: Bq/L)

日時	全β	Cs134	Cs137
2016/2/13 0:00	ND	0.06	0.46
2016/2/13 1:00	ND	0.06	0.52
2016/2/13 2:00	ND	0.08	0.45
2016/2/13 3:00	ND	0.06	0.42
2016/2/13 4:00	ND	0.04	0.50
2016/2/13 5:00	ND	0.07	0.42
2016/2/13 6:00	ND	0.07	0.42
2016/2/13 7:00	ND	0.07	0.51
2016/2/13 8:00	ND	0.09	0.52
2016/2/13 9:00	ND	0.10	0.53
2016/2/13 10:00	ND	0.11	0.61
2016/2/13 11:00	ND	0.10	0.64
2016/2/13 12:00	10.7	0.11	0.68
2016/2/13 13:00	ND	0.09	0.66
2016/2/13 14:00	ND	0.08	0.65
2016/2/13 15:00	ND	0.08	0.48
2016/2/13 16:00	ND	0.07	0.59
2016/2/13 17:00	ND	0.09	0.46
2016/2/13 18:00	ND	0.07	0.51
2016/2/13 19:00	12.2	0.08	0.43
2016/2/13 20:00	ND	0.04	0.62
2016/2/13 21:00	ND	0.10	0.55
2016/2/13 22:00	ND	0.09	0.58
2016/2/13 23:00	ND	0.10	0.59
平均値	11.5	0.08	0.53

NDは検出限界値未満を表す。

<備考>

(検出限界値 Bq/L)

- ・セシウム(Cs)134 : 0.02
- ・セシウム(Cs)137 : 0.05
- ・全β : 8.7

(注) 海水放射線モニタは、荒天により海上が荒れた場合、巻上った海底砂の影響等により、データが変動する場合があります。

また、β線モニタについては、ストロンチウム90のモニタリングを目的としていますが、現状ストロンチウム90のみを連続測定する事は難しい為、海水中に存在するβ線を放出する全ての核種を測定しております。

ストロンチウム90は、これまでの分析結果で1Bq/L以下の低いレベルとなっておりますので、全β放射能の値は、通常天然核種であるカリウム40(十数Bq/L)の影響を受けております。

(参考)

東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度は以下の通り

- ・セシウム(Cs)134: 60 Bq/L
- ・セシウム(Cs)137: 90 Bq/L

手汲み分析結果(2月8日10:00採取分)

- ・セシウム(Cs)137: 0.24 Bq/L
- ・セシウム(Cs)134: 0.06 Bq/L未滿